

平成 27 年度第 1 回文化財保護審議会要録

日時： 平成 27 年 4 月 17 日（金） 午後 1 時 30 分から午後 4 時

場所： 市役所 502 会議室

1 出席者

小平市文化財保護審議会委員 9 名（欠席 1 名）

傍聴者 1 名

2 内容

I 委嘱状交付・教育長挨拶

II 正・副会長選任

III 事務局職員紹介・部長挨拶

IV 報告事項

(1) 文化スポーツ課、小平市文化振興財団
平成 27 年度小平ふるさと村の運営について

(2) 文化スポーツ課

- ① 平成 26 年度鈴木遺跡資料館の入館者数について
- ② 日本考古学協会第 9 回公開講座について
- ③ 平成 27 年度予算について
- ④ 平成 27 年度文化財関係事業について
- ⑤ その他

V 議 題

(1) 平成 27 年度の審議会日程について

- ① 第 2 回 平成 27 年 11 月頃予定
- ② 第 3 回 平成 28 年 3 月頃予定

(2) 指定文化財の指定について

資料 7

(3) その他

《事務局報告への意見、質疑応答》

平成 27 年度小平ふるさと村の運営について

委員 灯りまつりは、現在1日間だけの開催であるが、いい企画だと思うので、もっと開催してほしい。

事務局 事務局も複数日開催を検討したことはあるが、夜間開催ということで夜店に参加してくれる参加団体の負担も小さくないため、調整がつかず一日間開催となっている。

委員 ふるさと村の運営目的を考えると、年中行事を保存再現する事業の実施日は、現在新暦に基づいて行われている。しかし、旧暦は四季の移り変わり、季節感をとても正しく踏まえており、旧暦に基づく開催も検討してよいのではないかと？

委員 新暦に基づく開催では、年中行事を行う日に本来あるべき草花などが生えていなかったり枯れてしまっていたりすることがよくある。

国指定史跡玉川上水、国指定名勝小金井桜の現状変更申請・保存活用計画について

委員 安藤広重の絵にもあるが、かつての小金井桜は本来現在ほど樹木は生えていなかった。サクラ以外の樹木は、近代になり上水の管理が行き届かなくなってから生え始めてきたものである。樹木の中には土手の斜面から生えているものもある。これらは樹木が大きくなってくると重みで土手の崩壊を招くと思われる。

市内文化財周知活用推進事業「文化財及び遺跡ルートマップの作成・配布」

委員 自身は小平市に移住して以降、小平市の歴史に触れる機会になかなか恵まれなかった。その理由のひとつには、小平の歴史・文化財に関する周知不足があると感じる。高齢者にはインターネットなどのデジタル的な周知方法はなじまない。そのため、ルートマップは高齢者に対する周知方法として非常に重要だと思う。たくさん印刷して小平市全戸に配ってもいいと思う。

委員 文化財案内看板がリニューアルできた際は、市報特集号を印刷して周知を図るのもよいかと思う。

市指定文化財候補「高橋定右衛門墓」について

委員 「高橋定右衛門」の「定」は、「さだ」または「じょう」と読む二通りの呼び方が通用している。指定すると読み方は統一しなければならないので、選択した方の呼び名が定着することになる。よく調査したうえで慎重に決定した方がよい。

事務局 「定」の読み方は現在のところどちらかが正しいとする確証がとれない。引き続き調査を行っていききたい。

委員 指定にあたって、墓の関係者はどのような反応があったのか？

事務局 高橋定右衛門の子孫の方は、指定によって先祖が顕彰されることになるので悪いことではないとのことであった。墓地所有者の円成院にも、今後指定看板等の設置について相談したい。

会長 この件の文化財指定は、平成27年いっぱいかけて議論・検討していききたい。

事務局 次回審議会では、現地視察を実施したい。